

常に反論できる姿勢を

同窓会
入会式 河村秋大准教授が激励

さる二月二日、多数の同窓会関係者の参列を得て、平成二十年度同窓会入会式が本校体育館で行われた。最初に豊口祐一同窓会長（昭和三十四年卒）から、「これから輝かしい未来が始まります。国内外で活躍している同窓生という財産を是非活用して欲しい」との歓迎の挨拶があった。

続いて秋田大学准教授の河村希典氏（平成二年卒）より新会員に対する激励の言葉があった。氏が現在取り組んでいる液晶に関する研究や国内外の学会を飛び回るようになるまでの経験について語られていた。氏は秋田大学工学資源学部で博士号を取得し、その後もエンジニアとして、国内外の学会で研究成果を発表するなど活躍している。新会員に対し、プロフェッショナルであり続けることの難しさや誇りについて次のようなメッセージで伝えていた。常に新しい情報に触れ、広い知見を持つことが重要です。特に国内外の情報にも精通することが大事で、英語でアピ



ルする力は必須となります。また、失敗を恐れないで下さい。苦勞は宝です。さらに、オリジナルにこだわることも大事です。人真似でもいいので、何か自分らしさを付加することです。最後に常に反論できる姿勢をもって下さい。それは自分なりの意見を持ち続けることで、プロフェッショナルとして必要な要件です。

国内外で活躍している氏からの力強い、刺激的なメッセージであった。同窓会からの記念品（校章型文鎮）は、藤盛節子同窓会副会長（昭和四十三年卒）から、生徒代表三浦航太さんに贈呈された。

羽城館企画展

柴田義弘 光画展

十六回目の今年の羽城館特別企画展は、前校長、柴田義弘氏（昭和四十一年卒）にご協力頂きました。ふるってご鑑賞下さるようご案内致します。

期 日 七月四日～八月二十八日午前十時～午後四時（土・日曜、祝祭日は休館）
八月十六日、二十三日、正午まで開館
場 所 秋高同窓会館「羽城館」

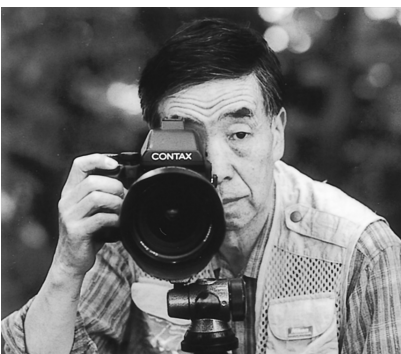
柴田義弘 光画展によせて 光の織りなす 瞬時の美を捕捉

校長 菊谷 一

毎回好評を博しております羽城館特別企画展が、今年十六回目を迎えました。

今回は、柴田義弘前校長にお願いいたしました。ご快諾いただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

柴田前校長は、昭和四十一



「光の舞台へ」

年三月に本校を卒業され、京

都大学理学部物理系に進学。その後帰郷され、数学の教師として教鞭をとられました。高校時代の地学部巡検の際カメラを手にされたことを契機に、以来、祭りや郷土芸能、部活動など、折々の記憶に残る場面を撮り続けてこられました。最近では自然の風景を対象にされることが多く、年賀状にはその写真が添えられています。そしてご退職後は、市内の様々な場所で展覧会を開いておられると伺っています。

柴田氏の作品からは、自然に対する畏敬の念や移ろい行く季節の微妙な変化を感じる事ができます。特に光の織りなす瞬時の美を捉えた作品に魅了されます。そこにあるのは、追憶と憧憬。自身の感じたことを如何にカメラに収めるか、長年の経験が生かされているように思えます。心行くまでゆつくりご鑑賞ください。また、企画展の準備に当たられた関係各位に深く敬意を表します。